

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	金沢福祉専門学校
設置者名	学校法人清永学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	2,132 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	金沢福祉専門学校
設置者名	学校法人清永学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 理事長	2025.6.6 ～ 2029.4.1 以後最 初に招集される 定時評議員会の 終結の時	経営目線での評価
非常勤	株式会社 代表取締役	2025.6.6 ～ 2029.4.1 以後最 初に招集される 定時評議員会の 終結の時	経営目線での評価
非常勤	一般社団法人 代表理事	2025.6.6 ～ 2029.4.1 以後最 初に招集される 定時評議員会の 終結の時	経営目線での評価
常勤	一般社団法人 理事	2025.6.6 ～ 2029.4.1 以後最 初に招集される 定時評議員会の 終結の時	組織運営体制への チェック機能
常勤	一般社団法人 理事	2025.6.6 ～ 2029.4.1 以後最 初に招集される 定時評議員会の 終結の時	営業・広報活動
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	金沢福祉専門学校
設置者名	学校法人清永学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
職業実践専門課程の認定基準に則り、学内会議にてカリキュラムを決定し、教育課程編成委員会にて審議を行った上で授業計画書を作成する。 授業計画書は翌年度分を年度末（3月）に作成し、ホームページに公表する。	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
下記成績評価方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施。 【成績評価方法】 主に出席状況、レポート、試験などにより評価。科目により異なるため、各科目についてはシラバスの成績評価方法欄に記載。 【成績評価基準】 講義・実習等ともに 100 点法に基づき、A（80 点～100 点）B（70 点～79 点）C（60 点～69 点）D（59 点以下）の標語をもって表示し、C以上を合格とする。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 100 点法に基づき算出した各科目の点数から、下記数式により全科目の合計点の平均を算出し、各学生の順位、成績の分布状況把握を実施。各学生の履修科目の平均成績＝個人の総合点（個人が履修した各科目の合計点）／ 当該学年の履修科目数（不可の科目も含む）	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学年の所定の課程の修了認定を受けた者は、進級できる。所定の修業年限以上在学し、所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	金沢福祉専門学校
設置者名	学校法人清永学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
財産目録	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
事業報告書	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2,132 単位時間 単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			2,132 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80 人		47 人	29 人	4 人	9 人		13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 職業実践専門課程の認定基準に則り、学内会議にてカリキュラムを決定し、教育課程編成委員会にて審議を行った上で授業計画書を作成する。 授業計画書は翌年度分を年度末（3月）に作成し、ホームページに公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 下記成績評価方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施。 【成績評価方法】 主に出席状況、レポート、試験などにより評価。科目により異なるため、各科目についてはシラバスの成績評価方法欄に記載。

【成績評価基準】 講義・実習等ともに 100 点法に基づき、A（80 点～100 点）B（70 点～79 点）C（60 点～69 点）D（59 点以下）の標語をもって表示し、C 以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の所定の課程の修了認定を受けた者は、進級できる。所定の修業年限以上在学し、所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） クラス担任制を採用し、きめ細かい支援体制を整えている。長期欠席者への指導等の対応として、電話・訪問等により本人・保護者と継続的に連絡を取り合い、指導等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	人 (%)	9 人 (90%)	1 人 (10%)
（主な就職、業界等） 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、有料老人ホーム			
（就職指導内容） 1 年次から個人面接を行い、学生一人ひとりの希望をヒアリング、履歴書や作文の作成、面接対応など就職活動に必要なスキルを養成する。また、毎日の学校生活の中で正しい礼儀作法を身に付けられるよう指導する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士（国家試験受験資格）、赤十字救急法救急員、アクティビティ・ワーカー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	1 人	2.7%
（中途退学の主な理由） 理解が追いつかない		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による学習支援、担任・学科責任者・校長による個別面談（聴き取りと解決策提示）		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
介護福祉 学科	170,000 円	660,000 円	649,000 円	その他内訳 ・施設設備費 270,000 円 ・実習費 60,000 円 ・国家試験対策費 60,000 円 ・その他 259,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公開 http://www.k-fukushi.ac.jp/info		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
＜体制＞ ・学校の専門分野における業界関係者 2名 ・卒業生（同窓会関係者、卒業後一定のキャリアを持った人） 1名 ・地域住民 1名 ・学校運営に関する専門家 1名 ＜評価項目＞ 「職業実践専門課程校」として教育環境の整備と健全な学校運営の更なる質向上に向けて、下記13基準に基づき評価を行う。①教育理念・目的・育成人材像等②学校運営③教育活動④学生指導⑤特別活動⑥学修成果⑦学生支援⑧教育環境⑨学生募集活動・受入⑩財務⑪法令等の遵守⑫社会貢献・地域貢献⑬国際交流 ＜実施方法＞ 事前に校内教職員にて自己点検・評価を実施し、その集計結果に基づき学校関係者評価委員にて評価表に記入頂く。 その後、委員の方々に参集頂き、意見交換を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人 理事長	2024. 11. 1～2026. 3. 31	専門分野における業界関係者
社会福祉法人 業務執行理事	2024. 11. 1～2026. 3. 31	専門分野における業界関係者

介護老人福祉施設 施設長	2024. 11. 1～2026. 3. 31	卒業生
地域老壮会 会長	2024. 11. 1～2026. 3. 31	地域住民
学校法人 理事長（他法人）	2024. 11. 1～2026. 3. 31	学校運営に関する専 門家
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.k-fukushi.ac.jp/info		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.k-fukushi.ac.jp
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H117320100148
学校名（〇〇大学 等）	金沢福祉専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人清永学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ 0）人	－（ 0）人	－（ 0）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				－（ 0）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。